

施策名：人に優しい安全で安心な交通社会の実現

事業名	担当課・室名	ページ
交通安全緊急対策事業	生活環境企画課	2 / 7
共生のまち整備事業	建設政策課	3 / 7
身近な道改善事業	道路保全課	4 / 7
交通安全施設等整備事業	道路保全課	5 / 7
交通安全施設整備事業	交通規制課	6 / 7
高齢者交通事故防止対策推進事業	交通企画課	7 / 7

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	交通安全緊急対策事業		事業期間	平成20年度～平成27年度		政策区分	安全・安心を実感できる暮らしの確立
						施策区分	人に優しい安全で安心な交通社会の実現
総合評価	<b>A</b>	<b>終了</b>	事業実施課(室)名	生活環境企画課		評価者	生活環境企画課長 望月 晃

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	全交通事故死者数に占める高齢者の割合、高齢運転者の交通事故件数は高水準で推移している。また、飲酒運転による交通事故も根絶の社会的気運が高まっている中、依然として発生している。	事業の目的	高齢運転者・高齢歩行者を対象とした交通事故対策や飲酒運転に関する意識啓発を実施することにより、交通事故を防止する。
-------	---	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①高齢運転者免許自主返納支援 運転免許証を返納した高齢者に割引等のサービスを実施する「サポート加盟店」の拡充 委託先：(公財)大分県交通安全協会 ②高齢者に対する交通安全教育 「脳トレ型交通安全教室」開催(18市町村) ③飲酒運転根絶に関する広報啓発 飲酒運転根絶県民大会の開催(参加者約200人、功労者表彰1人、2団体、3事業者) 飲酒運転根絶県民運動の日(毎月20日)等に街頭活動を実施		総コスト	16,649	16,638	
		事業費	4,649	4,638	
		(うち一般財源)	1,578	1,784	
		人件費	12,000	12,000	
		職員数(人)	1.20	1.20	

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	高齢運転者免許自主返納者数(人)	目標値	1,200	1,400		1,400	<b>a</b>	・交通安全教室の参加者層を拡大するため、小規模な会場でも実施できるよう手法を改善 ・運転免許自主返納の増大のため、制度の認知度を向上	
		実績値	1,812	2,355		2,355			
		達成率	151.0%	168.2%		168.2%			
	脳トレ型交通安全教室参加者数(人)	目標値	1,600	1,600		1,600			
		実績値	1,613	1,759		1,759			
		達成率	100.8%	109.9%		109.9%			

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	交通事故死者数(人)	目標値	48以下	45以下		45以下	<b>a</b>	交通事故発生件数・負傷者数は11年連続減少し、死者数は46人で目標値には達しなかったが、前年比10人の減となり、統計を取り始めた昭和27年以降3番目に少ないものとなった。また、飲酒運転による事故件数は28件で、前年比7件の減であった。	
		実績値	56	46		46			
		達成率	85.7%	97.8%		97.8%			

## [4. 今後の方向性等]

今後の方向性	<b>終了</b>	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	-----------	--------	--------	----

### 今後の事業方針

- ・高齢者の交通安全対策については、新規事業にて継続
- ・運転免許自主返納制度の周知及び返納促進の普及啓発を実施
- ・「脳トレ型交通安全教室」の手法を改善し、体験教室巡回型の交通安全講習である「いきいき交通安全体験講座」を実施

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

別紙2-9

事業名	共生のまち整備事業		事業期間	平成 3 年度～平成 年度	政策区分	安全・安心を実感できる暮らしの確立
					施策区分	人に優しい安全で安心な交通社会の実現
総合評価			事業実施課(室)名	建設政策課	評価者	建設政策課長 麻生 卓也

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	高齢者、障がい者、児童などすべての県民が自立して生き生きと生活し、人と人との交流が深まる共生型の地域社会を実現するため、社会活動への参加を妨げる行動面での障壁を取り除くことが求められている。	事業の目的	高齢者、障がい者、児童などすべての県民が安心して快適に生活できるよう、県が設置または管理する既存の公共施設のバリアフリー化およびユニバーサルデザイン化を推進し、行動面での障壁を取り除くことを目的とする。
-------	---	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①歩道等の改良 段差解消、側溝蓋改修、視覚障がい者誘導用ブロックの設置等 ②県有施設の改修 通路のスロープ化、手すりの設置、多機能トイレの整備等 ③交通環境の整備 視覚障がい者用音響装置の設置、視覚障がい者用誘導用標示の設置等	・必要に応じ事業実施箇所の変更を行い、効率的に事業効果を発現	総コスト	80,000	80,000	80,000
		事業費	80,000	80,000	80,000
		(うち一般財源)	8,000	8,000	8,000
		人件費			
		職員数(人)			

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
		目標値							高齢者、障がい者等にとって社会活動への参加を妨げる障壁除去が推進され、共生社会への一助となっている。
		実績値							
		達成率							

## [整備箇所数等]

工種	平成27年度 施工箇所数等	平成27年度まで の整備箇所数等
歩道等の改良延長	2.6 km	212.5 km
県有施設改修箇所	6 箇所	240 箇所
交通環境整備箇所	8 箇所	990 箇所

## [参考] [整備箇所数等]

工種	平成26年度 施工箇所数等	平成26年度まで の整備箇所数等
歩道等の改良延長	2.7 km	209.9 km
県有施設改修箇所	10 箇所	234 箇所
交通環境整備箇所	8 箇所	982 箇所

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

別紙2-4

事業名	身近な道改善事業		事業期間	平成 25 年度～平成 年度	政策区分	安全・安心を実感できる暮らしの確立
					施策区分	人に優しい安全で安心な交通社会の実現
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	道路保全課	評価者	道路保全課長 和田 敏哉

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	歩道や路肩に対する歩行空間の改善など、地域住民にとって身近な道路に関する改善の要望が多く、より迅速に対応することが求められる。	事業の目的	生活道路の「利便性」及び「安全性」の向上を図る。
-------	---	-------	--------------------------

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況				コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①離合スペースや歩行空間の確保 路肩改良：32件、簡易歩道：5件、側溝整備（蓋掛け含む）：31件 ②常時安全な見通しの確保 防草工：18件、植樹帯撤去：4件 ③良好な道路環境の確保 舗装補修：13件、交通安全施設新設・修繕：6件 等		県民から寄せられる要望に対応できるように、事業内容の拡充（植樹帯の見直しによる歩行空間の改善等）	総コスト	862,000	862,000	862,000	862,000	862,000	
			事業費	800,000	800,000	800,000	800,000		
			(うち一般財源)	286,000	286,000	286,000	283,000		
			人件費	62,000	62,000	62,000	62,000		
			職員数(人)	6.20	6.20	6.20	6.20		

  

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	着手箇所数(箇所)	目標値		120	120	120		
実績値			115	109				
達成率			95.8%	90.8%				
	目標値							
	実績値							
	達成率							

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	完了箇所数(箇所)	目標値		667	780	880		
実績値			617	702				
達成率			92.5%	90.0%				

## [4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

・本事業に対しての地元要望は依然と多いため、引き続き県民のニーズにきめ細やかに応えることができるよう事業を継続

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

別紙2-9

事業名	交通安全施設等整備事業	事業期間	平成	年度～平成	年度	政策区分	安全・安心を実感できる暮らしの確立
						施策区分	人に優しい安全で安心な交通社会の実現
総合評価		事業実施課(室)名	道路保全課			評価者	道路保全課長 和田 敏哉

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	交通事故件数は依然として高い水準で推移しており、歩行者や自転車利用者の死亡事故の割合は高い。	事業の目的	交通事故防止を図るため、歩行者・自転車・高齢者等の利用に配慮した整備を推進し、路上での交通事故防止を図る。
-------	--	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○(公) 地域活力基盤交通安全事業：歩道、自転車道、交差点改良等</li> <li>○(公) 地域活力基盤舗装道補修事業：既設舗装の補修</li> <li>○(単) 交通安全事業：道路付属物の整備、交通安全施設の維持・補修等</li> <li>○(単) 弱者事故対策事業：カラー舗装等の交通弱者事故対策</li> <li>○(単) 側溝整備事業：道路側溝の整備</li> <li>○(単) 舗装道補修事業：既設舗装の補修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会、警察と連携した通学路合同点検の実施</li> </ul>	総コスト	11,508,464	9,904,143	14,290,655
		事業費	11,508,464	9,904,143	14,290,655
		(うち一般財源)	902,226	1,056,653	1,491,118
		(うち繰越額)	3,430,002	3,381,274	3,347,334
		人件費			
		職員数(人)			

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(36年度)	評価	事業の成果
		目標値						
		実績値						
		達成率						

特定交通安全施設等整備事業の推進に関する法律に基づき、歩道・自転車歩行者道の整備、交差点の改良、道路標識の設置等、交通安全施設を整備し、歩行者等の安全の確保と交通事故防止を図った。  
成果については、下記の表のとおり。

### 路線等の概要

事業名	区分	H27事業実施路線	事業箇所数
(公) 地域活力基盤交通安全事業	交通安全	国道213号ほか24路線	全33箇所
	災害防除	県道豊後高田国東線ほか44路線	全73箇所
	修繕	国道197号ほか32路線	全128箇所
(公) 地域活力基盤舗装道補修事業	国道	国道213号ほか9路線	全20箇所
	県道	主要地方道日出山香線ほか13路線	全21箇所
(単) 交通安全事業	交通安全	国道197号ほか県内一円	県内一円
	災害防除	主要地方道豊後高田国東線ほか85路線	全183箇所
(単) 弱者事故対策事業	国道	国道213号ほか9路線	全24箇所
	県道	主要地方道豊後高田安岐線ほか15路線	全16箇所
(単) 側溝整備事業	国道	国道500号ほか7路線	全19箇所
	県道	主要地方道豊後高田国東線ほか32路線	全54箇所
(単) 舗装道補修事業	国道	国道212号ほか9路線	全30箇所
	県道	主要地方道別府一の宮線ほか59路線	全83箇所

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

別紙2-4

事業名	交通安全施設整備事業		事業期間	昭和 46 年度～平成 年度	政策区分	安全・安心を実感できる暮らしの確立
					施策区分	人に優しい安全で安心な交通社会の実現
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	交通規制課	評価者	交通規制課長 三浦 一也

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	交通環境の著しい変化や高齢化の進行等に伴い、高齢者が当事者となる交通死亡事故が多発しているほか、交通事故発生件数及び負傷者数が高い水準で推移している。	事業の目的	県民が快適な交通社会の中で安全に暮らせるよう、道路交通規制標識・標示や信号機の整備を図る。
-------	---	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①ゾーン対策の推進 ゾーン30(最高速度30km/h区域)規制の実施(6箇所) ②歩行空間のバリアフリー化 視覚障害者用誘導標示の設置(250m) ③事故危険箇所対策等の推進 道路標識(260本)・道路標示(16km) 信号機の新設(30基)・高度化(92基)		総コスト	854,185	703,800	755,621
		事業費	839,185	688,800	740,621
		(うち一般財源)	209,667	190,125	169,284
		人件費	15,000	15,000	15,000
		職員数(人)	1.50	1.50	1.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	指定道路の道路標識の整備数(本)	目標値		220	260	226		
実績値			220	260				
達成率			100.0%	100.0%				
信号機の新設数(基)	目標値		30	30	27			
	実績値		30	30				
	達成率		100.0%	100.0%				

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年	27年	28年	最終達成(年)	評価	事業の成果
	交通事故死傷者数(人)	目標値		7,000以下	6,500以下	6,343以下		
実績値			6,726	6,480				
達成率			103.9%	100.3%				

## [4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・ゾーン対策の推進 ・通学路における交通安全対策の推進 ・交通安全施設の整備において、施工箇所の選定等、引き続きコスト削減を検討 ・信号灯器のLED化等、信号機の改良・高度化を更に推進				

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

別紙2-4

事業名	高齢者交通事故防止対策推進事業		事業期間	平成26年度～平成29年度		政策区分	安全・安心を実感できる暮らしの確立
						施策区分	人に優しい安全で安心な交通社会の実現
総合評価	<b>B</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	交通企画課		評価者	交通企画課長 木村 浩和

## 【1. 現状・課題、目的】

現状・課題	交通事故件数や負傷者数は減少傾向にあるものの、高齢化の進展に伴い、高齢者が当事者となる死亡事故が多発しているため、高齢運転者・歩行者両面からの交通事故防止対策が課題となっている。	事業の目的	加害・被害両面から高齢者の交通事故を減少させる。
-------	---	-------	--------------------------

## 【2. 事業内容】

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①地域包括支援センター・民生児童委員との連携による高齢者の交通事故及び特殊詐欺被害防止対策事業 高齢者宅への訪問活動を通じた交通安全アドバイスの実施 指導マニュアル(3,300冊)、反射タスキ(22,000本)の作成 ②参加体験型講習用機材(危険予測トレーニングシステム)の導入 危険予測能力向上のための講習用機材導入による集団体験型講習の実施 ③インターネットを通じた情報発信事業 動画コンテンツ(3本)やPDF(10本)による交通安全情報の発信 ④簡易型運転機能検査機(ミニぶんど)の活用 7月末までの継続活用(平成21年8月1日から運用開始)	・関係機関・団体と連携した高齢者に対する交通安全教育による業務の効率化 ・一般競争入札によるコストの削減 ・ホームページを活用した交通安全情報発信の効率化	総コスト	13,677	13,852	16,651
		事業費	1,677	1,852	4,651
		(うち一般財源)	1,677	1,852	4,651
		人件費	12,000	12,000	12,000
		職員数(人)	1.20	1.20	1.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年	27年	28年	最終達成(29年)	評価	今後の課題	
	地域包括支援センター等との連携(地区数)	目標値		55	77	77			77
実績値			55	77					
達成率			100.0%	100.0%					
参加体験型講習用機材による講習(実施回数)		目標値			60	360	360		
		実績値			53				
		達成率			88.3%				

## 【3. 事業の成果】

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年	27年	28年	最終達成(29年)	評価	事業の成果
	高齢者死傷者数(人)	目標値		1,155以下	1,145以下	1,127以下		
実績値			1,155	1,134				
達成率			100.0%	101.0%				

## 【4. 今後の方向性等】

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

### 今後の事業方針

- ・関係機関・団体と連携した指導啓発活動の充実
- ・講習用機材の活用による参加・体験型交通安全教育の充実